

東海北陸グループの18病院一覧



東海北陸グループ 臨床研修施設一覧

頁	都道府県	基幹施設名	初期臨床研修	専門研修（基本領域）																		
				内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	産婦人科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査科	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
71	富山県	富山病院	—		●																	
72		北陸病院	協力型				★															
73	石川県	金沢医療センター	基幹型	★																		
74		医王病院	協力型																			
75		七尾病院	協力型																			
76		石川病院	—													●						
77	岐阜県	長良医療センター	基幹型					●														
78	静岡県	静岡てんかん・神経医療センター	協力型	●	●	●						●										
79		天竜病院	協力型																			
80		静岡医療センター	基幹型	★	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	★							
81	愛知県	名古屋医療センター	基幹型	★	●	●	●	★	●	●	★	●	●	●	●	●	●	★	●	●	●	
82		東名古屋病院	協力型																			
83		東尾張病院	協力型																			
84		豊橋医療センター	基幹型																			
85	三重県	三重病院	協力型	●	●			●	●		●										●	
86		鈴鹿病院	協力型																			
87		三重中央医療センター	基幹型	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	
88		榊原病院	協力型				●															

専門研修・・・★：基幹施設及び連携施設 ●：基幹施設 ○：連携施設



富山病院



病院長名	金兼 千春
住 所	〒939-2692 富山県富山市婦中町新町3145
電話番号	076-469-2135

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2				1						10							
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
			1														14

□ 病床数 (医療法病床数)

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
110	170		5				285

- 1日平均患者数 **外来** 42件 **入院** 246件
- 年間救急受入数 **患者数** 46件 **救急車** 10件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 0件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 無 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 5名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回 (剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 0回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	400,000 円/月
2年次	—	400,000 円/月
3年次	—	400,000 円/月

トピックス

■副院長 滝澤 昇

患者数の減少で病院の出自たる結核医療が縮小し続ける中、postNICUの役割も加わった重症心身障害医療の比重が次第に高まり、またいわゆる「こころの問題」が中心になりつつある成育医療もその重要性が増しており、力を入れています。

従来の政策医療の枠は継承しつつも、次第に「国」立病院の軛を離れ、地域の行政・医療との連携を密にするように努めています。また、院内体制の見直しを進めるとともに、院内に大きな比重を占める障害・慢性疾患にたずさわる全職員の支援となり、院外の同様職種の人にも参考となる勉強の場として、富山病院が先導する定期的講演会の開催などと、院内の動きは俄かに活性が上がっています。分かりやすく、明るい病院を目指しています。



富岩運河環境水公園



市電

病院PR

富山病院の特色

- 1) 主たる機能は①重症心身障害児(者)医療、②小児医療(学童・思春期精神)、③慢性呼吸器・循環器、脳血管障害・神経筋難病医療、④結核医療です。
- 2) 県内における結核医療の一端を担っており、最新の隔離環境で担当医が対応しています。
- 3) 重症心身障害の分野におけるNICUの後方支援の役割を担う病院
富山県で、濃厚な医療ケアを要する重症心身障害に対応可能な唯一の施設です。
現在、主治医は全て小児科医ですが、外科医や呼吸器科医、歯科医の日頃の協力は必要ですし、そしてその他の医療が必要な場合には臨時に大学病院などからの応援も得ながら診療を行っています。



研修担当

□ 院長 金兼 千春

当院は、重症心身障害が170床、成育が50床。後者も、いわゆる「こころの発達」に関連する疾患が多く、小児神経・精神を多く学べます。結核は高齢化やHIVなど基礎疾患の問題も大きく、結核に「呼吸器」「新たな感染症」なども加え、奥行きある研修が出来ます。全体に慢性化・障害化した患者さんが多く、職員もこの分野に精通しています。

国の政策が急性期医療に一定の歯止めをかけ、病床配置が慢性・回復期、在宅医療重視へとシフトする中、障害者医療の技術面に限らず、行政・福祉と関わる部分までも学ぶことが出来ます。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課 庶務班長
- 担当医師** 院長 金兼 千春
- TEL** 076-469-2135
- FAX** 076-469-5616
- E-mail** 300-syomu2@mail.hosp.go.jp





北陸病院



病院長名	吉田 光宏
住 所	〒939-1893 富山県南砺市信末5963
電話番号	0763-62-1340

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1				2													
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
			10														13

□ 病床数 (医療法病床数)

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
50	50			172			272

- 1日平均患者数 **外来** 43件 **入院** 241件
- 年間救急受入数 **患者数** 3件 **救急車** 3件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 0件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 6名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回 (剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 1回/月平均 **専門研修** 1回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	532,400 円/月
2年次	—	551,500 円/月
3年次	—	565,700 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

- ・金沢大学附属病院
- ・富山大学附属病院
- ・市立砺波総合病院
- ・南砺市市民病院

□ 研修領域

精神科・神経科

□ 研修の特徴

当院は、管理型病院のローテーションの一環として精神科研修を受け持っています。管理型病院ではできない研修について依頼を受け、その要望に応える形でプログラムを作成しています。精神医学全般については1ヶ月、認知症については1週間、医療観察法病棟では1日の研修を行っています。それぞれの要望に応える形での研修が可能です。将来、専門医にかかわらず、精神医学的な理解を持って心身両面からアプローチを行うことが必要です。このことを踏まえ、日常診療で頻繁に遭遇する精神科関連の疾患や病態に適切に対応出来るよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、知識、技能)を身につけるようプログラムを組んでいます。

専門研修

基幹施設

(19領域)

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	臨床	救急	形外	リハ	総診
			○															

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名(プログラム名)	年数	定員
精神科専門医研修プログラム	3年	9名

□ 試験日程

要相談

□ 選考方法

書類・面接選考



連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
精神科専門医研修プログラム	金沢大学附属病院
精神科専門医研修プログラム	富山大学附属病院
精神科専門医研修プログラム	松原病院

病院PR

当院は以下の分野で診療、臨床研修、情報発信を柱とする政策医療を担います。

○政策医療として、精神疾患、神経疾患、重症心身障害(強度行動障害を伴う)の専門的医療を行っています。

○医療観察法に基づく指定入院医療機関として、多職種による専門的なチーム医療を行い、対象者の自立と早期の社会復帰の実現を図るとともに、司法精神学及び精神医学の発展に貢献することを目指します。

○精神科救急においては、富山県の基幹病院及び輪番病院としての役割を担っています。

○認知症の診断・治療については、富山県指定の「認知症疾患センター」があり、早期診断・治療及びBPSD(周辺症状)の対応について神経内科、精神科が協力し専門医療の提供をしています。センター業務の一環として保健・福祉面での支援にも力を入れています。

○神経難病については、入院の受入れのみならず、カウンセリングも行っており、専門的医療の提供をしています

研修担当

□ 統括診療部長 白石 潤

当院は、南砺市の自然に囲まれた静かな環境にあり、ゆったりとした空間・時間の中で研修ができます。神経科精神科領域における国立病院機構の基幹施設として、政策医療の対象である精神疾患(医療観察法病棟を含む)、神経難病、重症心身障害及び認知症の専門的な医療を行うことを基本方針としております。



トピックス



北陸新幹線開業により首都圏から3時間内で、ご覧のようなどかな田園地帯で勤めることができます。当院は、富山県西部に位置し、砺波平野の山居村にあり、近くには世界遺産の五箇山・白川郷、立山黒部アルペンルート、古都金沢や高山、イオックスアローザ(スキー場)、日本海でとれる海の幸等が堪能できます。是非、お越し下さい。お待ちしております。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 管理課 庶務班長

担当医師 統括診療部長 白石 潤

TEL 0763-62-1340

FAX 0763-62-3460

E-mail 301-hokuriku-kanri@mail.hosp.go.jp





金沢医療センター



病院長名	阪上 学
住 所	〒920-8650 石川県金沢市下石引町1-1
電話番号	076-262-4161

病院概要

診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
9	5	8	9	2	5	2		3	3	9	2	6	1	3	3	7	5
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他	歯	緩和								
3			4	2				5	2								98

病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
512				42			554

- 1日平均患者数 **外来** 586件 **入院** 339件
- 年間救急受入数 **患者数** 6,497件 **救急車** 3,102件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 2,750件 **全身麻酔** 1,391件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 有

研修体制

- 指導医数 67名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 7回(剖検数 7件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当直 **初期研修** 4回/月平均 **専門研修** 3回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	370,000 円/月	490,000 円/月
2年次	390,000 円/月	510,000 円/月
3年次	-	530,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴**
 - 県下有数の救急患者数で、二次救急指定医療機関であるが、一次から三次まで受け入れあり
 - プライマリーケアから高レベルの診療まで幅広い診療を経験可能
 - 各種合同カンファレンス・検討会に参加可能

研修終了後の進路 当院後期臨床研修医(専修医)、大学入局等

研修医の出身大学 金沢大学、金沢医科大学 他

募集人数 8名

試験日程 2024年7月~8月にかけて3回実施(うち1回を選択)

選考方法 面接方式



専門研修

基幹施設

(19領域)

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	臨床	救急	形外	リハ	総診
○																		

主な専門研修プログラム

基本領域名(プログラム名)	年数	定員
国立病院機構金沢医療センター内科専門研修プログラム	3年	3名

試験日程 随時
選考方法 面接方式



連携施設

主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
金沢大学附属病院小児科専門研修プログラム	金沢大学附属病院
富山県立中央病院内科研修プログラム	富山県立中央病院
福井県済生会病院内科専門研修プログラム	福井県済生会病院

病院PR

当院の特色ある部門として、血管病センター、がん診療部、地域周産期母子医療センターがあります。血管病センターでは、全身の動脈を1つの臓器として捉え、臨床研究部や他の診療科と密接に連携し総合的に診療しています。がん診療部では、難治性がんの治療に重点を置き、地域がん診療連携拠点病院として集学的治療を行う体制を整備しています。地域周産期母子医療センターでは、ハイリスク妊婦の受入れ、ハイリスク新生児のNICUでの治療を行っています。救急医療は、複数の当直医及び各科のオンコール体制の充実、小児救急では24時間2交代勤務で対応しています。地域医療では平成20年4月に石川県最初の地域医療支援病院の承認を得ております。

初期研修医の声

研修医 竹谷 絵里

当院は、診療科が豊富に揃っており、一般的な疾患から専門性を有した急性期疾患まで幅広く経験することが出来ます。教育熱心な指導医の先生方のご指導の元多くを学ばせていただいております。研修スケジュールにおいても自由に選択することが可能であり、各自の希望に沿って研修を行うことができます。当院近くには兼六園や金沢城もありとても素敵なおところに位置しています。



研修担当

教育研修部長 太田 和秀

当院は、精神科を含めほぼ全ての診療科が揃う北陸地区の中核となる総合病院です。アットホームな雰囲気も当院の自慢の一つです。毎月の研修医集会できめ細かな臨床指導および評価を行っています。臨床研修医時代は、その後の医師の在り方に大きな影響を及ぼす大切な時期ともいえます。我々指導医は、2年後には一人前の医師として世に送り出す義務があることを自覚し指導に専念しています。



トピックス

令和6年1月より、これまで新型コロナ対応で感染症専門としていた病棟を「赤ちゃん・子どもと女性の病棟」として改装し、新生児集中治療室(NICU)を4年ぶりに再開しました。これまで別々のフロアにあった産婦人科と小児科を同フロアに集約することでより機能性を高めています。コロナ禍においては県が認定する周産期母子医療センターとして機能を十分に果たせておりませんが、今後は地域の皆さんの期待に応えられるよう職員一丸となって取り組んでいきます。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 管理課 庶務係
- 担当医師** 教育研修部長 太田 和秀
- TEL** 076-262-4161
- FAX** 076-222-2758
- E-mail** 302-kenshu@mail.hosp.go.jp





病院長名	石田 千穂
住 所	〒920-0192 石川県金沢市岩出町二73-1
電話番号	076-258-1180

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1				5						8							
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
						1											15

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
110	100	100					310

- 1日平均患者数 **外来** 55件 **入院** 268件
- 年間救急受入数 **患者数** 52件 **救急車** 52件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 25件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 無 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 7名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 4回(剖検数 9件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 2回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	380,000 円/月
2年次	—	400,000 円/月
3年次	—	—

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

- ・金沢大学附属病院
- ・NHO金沢医療センター

□ 研修領域

- ・内科(特に脳神経内科)
- ・小児科

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科専門医研修プログラム	金沢大学附属病院
小児科専門医研修プログラム	金沢大学附属病院、 NHO金沢医療センター
リハビリテーション科専門医研修プログラム	金沢大学附属病院、 金沢医科大学病院
神経内科専門医研修プログラム	金沢大学附属病院、 NHO金沢医療センター

□ 研修の特徴

- ・内科：複数の学会指導医のもとで、神経変性疾患の病態診断、画像解析、臨床研究に関りながら、外来、入院、在宅訪問診療などを幅広く行います。また、年間10例前後の病理解剖症例があります。金沢大学脳神経内科や金沢医療センターと連携したCPCによって、病態理解をより深めることができます。
- ・小児科：感染症、健診、予防接種などの小児一般に加え、発達障害、心身症、神経症、重症心身障害、筋ジストロフィーなどの研修が可能です。

病院PR

当院は、神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害、子どものこころの診療を中心に行っており、石川県より拠点病院あるいは連携病院として、以下のような委託をうけています。

- 1) 北陸脳神経筋疾患センター、石川県難病拠点病院(神経・筋領域)
- 2) いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」
- 3) いしかわ子どものこころのケアネットワーク拠点病院、石川県摂食障害診療連携



■ 専門医資格関連情報(2024年3月1日現在)

- 日本神経学会教育施設
- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本内科学会認定医制度教育関連施設
- 子どものこころ専門医機構専門医研修連携施設
- 日本神経病理学会認定施設・准教育施設
- 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン協力病院

研修担当

□ 院長 石田 千穂

当院では、専門的医療だけでなく患者さまのQOLを重視したチーム医療を推進しています。専門医療に精通したメディカルスタッフがそろっており、ひとりひとりの患者さまの診療・ケアを通じて、指導医のみならず、メディカルスタッフからも様々なことを学んでいただきたいと思います。



トピックス

当院は、金沢市の中心部から8kmに位置しており山側環状線、高速道路が病院前で交差し富山方面、能登方面へのアクセスの良さは抜群で、自然に恵まれた環境の中で研修に励むことが出来ます。

各分野において熟練した指導医のもとで専門性の高い研修を行うことができます。当院の専門分野に興味のあるかたは、ぜひご連絡下さい。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課庶務班長
- 担当医師** 院長 石田 千穂
- TEL** 076-258-1180
- FAX** 076-258-6719
- E-mail** 303-syomu@mail.hosp.go.jp





七尾病院



病院長名	安井 正英
住 所	〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3-1
電話番号	0767-53-1890

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	1	1		4						2							
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
							1										10

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
149	50		40				239

- 1日平均患者数 **外来** 45件 **入院** 198件
- 年間救急受入数 **患者数** 164件 **救急車** 0件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 2件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 5名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回（剖検数 0件）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 **初期研修** 2回/月平均 **専門研修** 0回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	500,000 円/月
2年次	—	500,000 円/月
3年次	—	500,000 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名
 - ・金沢医療センター
- 研修領域
 - ・呼吸器内科
- 研修の特徴
 - ・呼吸器内科（結核、肺非結核性抗酸菌症、呼吸器症候学）プログラム
 - ・小児科（重心、発達遅延）プログラム
 - ・神経内科（神経・筋疾患）プログラム

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名
呼吸器内科（結核、肺非結核性抗酸菌症、呼吸器症候学）プログラム
小児科（重心、発達遅延）プログラム
神経内科（神経・筋疾患）プログラム

□ 研修の特徴

風光明媚な環境で結核・重症心身障害児（者）・神経筋難病の臨床から最新の研究について学べます。肺結核症について胸部身体所見を始め、胸部写真の見方、最新の検査方法等全般の研修が出来ます。

病院PR

- ・日本結核病学会北陸支部を担当して、結核に関する医療・研究・教育、結核対策についても指導的立場にあります。気管支鏡検査を始めとする積極的診断を行い、症例検討会・DOTS連絡会など保健所との密接な連携や標準的結核医療を研修できます。
- ・神経内科疾患は、栄養管理と呼吸管理を始めとする全身管理と理学療法等を積極的に実践し、患者さんのADLとQOLの向上を目指しており、日本神経学会準教育施設に認定されています。
- ・NST認定教育施設に認定され、医療関係者の研修に貢献しています。
- ・呼吸器症候学の発祥の地として、咳、痰、喘鳴、息切れに特化し、患者さんに寄り添いQOL向上に貢献しています。

研修担当

□ 副院長 横地 英博

- ・政策医療である結核、重症心身障害、神経筋難病の臨床から最新の研究について学ぶ。
- ・重症心身障害、神経筋難病、呼吸器疾患の患者さんの積極的な呼吸管理と栄養管理を始めとする全身管理と全人的医療を学ぶ。
- ・肺結核と近年増加して社会問題となっている肺非結核性抗酸菌症の積極的診断法と標準的治療法について学ぶ。
- ・咳、痰、喘鳴、呼吸困難を個々に診断して治療する呼吸器症候学の核心を学ぶ。



トピックス



- ・石川県の結核対策中核病院に指定され、結核に関する啓蒙活動を全国的に積極的に展開しています。
- ・小児精神運動発達遅延を権威的な専門医が診療しています。
- ・慢性咳嗽で困っている患者さんが全国から受診しています。
- ・人工呼吸器管理の全ては、医師と共に熟練した看護師が実践しています。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 管理課 庶務係
- 担当医師** 副院長 横地 英博
- T E L** 0767-53-1890
- F A X** 0767-53-5771
- E-mail** 304-kanri@mail.hosp.go.jp





病院長名	伊勢 拓之
住 所	〒922-0405 石川県加賀市手塚町サ150
電話番号	0761-74-0700

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3				1	2			1		2							
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
																	9

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
165	50						215

- 1日平均患者数 外来 73件 入院 173件
- 年間救急受入数 患者数 212件 救急車 92件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 47件 全身麻酔 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 無 院内保育所 無 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 2名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回（剖検数 0件）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 初期研修 0回/月平均 専門研修 4回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	390,000 円/月	390,000 円/月
2年次	390,000 円/月	390,000 円/月
3年次	—	390,000 円/月

研修概要

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科（金沢大学附属病院内科専攻医研修プログラム）	金沢大学附属病院
内科（金沢医療センター内科専門研修プログラム）	金沢医療センター

□ 研修の特徴

- ・内科領域では、金沢大学附属病院と金沢医療センターの連携施設として専攻医を受け入れます。
- ・経験豊かな指導医から、マンツーマンで全人的な医療を学べることが当院の大きなメリットです。
- ・地域の特徴として、比較的高齢の患者さんが多いため、複数のプログラムを並行して管理することや病院連携も含めた実践的なスキルを獲得できます。

トピックス

- ・平成29年11月に全病棟が新築となりました。
- ・石川病院の近くに柴山湯があり、そこから霊峰白山がきれいに望めます。



病院PR

当院は、金沢市から車で40分の通勤圏内ながら、越前加賀海岸国定公園内にあり、周辺には加賀温泉郷、渡り鳥の飛来する鴨池、加賀藩城下町として栄えた大聖寺の街並みなど、豊かな自然と文化が残る地域です。神経難病や重症心身障害を扱う一方、外科、内科、脳神経内科、整形外科、小児科などの一般診療も行い、障害者の急性疾患に院内で対応できる体制を整えてきました。外来診療では、非常勤医師の応援も得て、循環器科、消化器科、内分沁内科、腎臓内科、呼吸器科、総合診療科、小児科、心臓血管外科、消化器外科、一般外科、皮膚科、眼科、歯科と、幅広い診療を行い、地域に根差した医療の提供を心がけています。特に消化管内視鏡検査、下肢静脈瘤治療、生活習慣予防には力を入れており、救急搬送への対応においても医療圏で一定の役割を担っています。



研修担当

□ 院長 伊勢 拓之

日常よく遭遇する疾患から神経難病、障害児・者まで幅広く研修することが可能です。小規模病院ならではの利点として、多職種での各種活動も活発に行われており、生活習慣病、感染対策、人工呼吸器管理等について理解を深める機会が提供されています。受け持ち症例の問題点については、診療科の垣根を越えて随時相談できることが当院の強みです。学会発表や論文投稿への支援も行います。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 管理課
- 担当医師 院長 伊勢 拓之
- TEL 0761-74-0700
- FAX 0761-74-7642
- E-mail 305-TOIAWASE@mail.hosp.go.jp





長良医療センター



病院長名	加藤 達雄
住 所	〒502-8558 岐阜県岐阜市長良1300-7
電話番号	058-232-7755

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
	7	1	1		2	2				5	1						
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	神小										計
							1										20

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
203	140	40	18				401

- 1日平均患者数 **外来** 149件 **入院** 270件
- 年間救急受入数 **患者数** 1,297件 **救急車** 371件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 225件 **全身麻酔** 210件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 8名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回(剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 4回/月平均 **専門研修** 3回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	575,830 円/月	597,000 円/月
2年次	575,830 円/月	597,000 円/月
3年次	-	597,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴
 - ・各年次3名以下と少人数制のため、質の高い充実した研修が可能。
 - ・呼吸器・循環器、小児のプライマリ・ケア、障害者の医療について十分な研修を行える。
 - ・選択研修では研修医の自主性を重んじたコースの選択が可能。
- 研修終了後の進路 当センターで後期研修医、機構内病院・関連大学への推薦
- 研修医の出身大学 聖マリアンナ医科大学、帝京大学、名古屋市立大学、滋賀医科大学
- 募集人数 3名
- 試験日程 随時
- 選考方法 面接等



専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
岐阜大学小児科専門医プログラム	岐阜大学
岐阜大学外科専門医プログラム	岐阜大学
京都大学外科専門医プログラム	京都大学

□ 研修の特徴

専門性の高い医療環境の基で知識と手技を学び、多くの経験を積み、専門医資格の取得を目指すことができる。

病院PR

長良医療センターの理念

《理念》 その人らしく「生きる」を支える

本人・家族の思いを尊重した医療を提供し、多職種で、その人らしい人生を支えることが当センターの使命と考えています。

《プログラムの目的と特色》

長良医療センターでの初期研修は、少人数の強みを生かしたアットホームな雰囲気の中、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な疾患に対する基本的な診療能力を身に付けるとともに、患者の視点に立った全人的な医療をできる医師を養成することを目的としています。

院長挨拶

□ 院長 加藤 達雄

当院は、呼吸器内科、呼吸器外科、小児科、小児外科、重症心身障害者医療等を中心とする病院です。それぞれの科で専門性の高い診療を行っており、これらの科に興味ある研修医にとっては有意義な研修を提供できる病院であります。当院にない科に関しましては、岐阜市内にある朝日大学病院をはじめ他病院に行って研修を受けてもらっています。複数の病院で研修することは、それぞれ異なった環境や雰囲気を体験することでこれも有意義であると考えています。また当院は緑多き閑静な住宅地にあり、近くには長良川・金華山・岐阜城など風光明媚な場所も多くあり、落ち着いた研修ができます。



研修担当

□ 副院長・教育研修センター長 安田 邦彦

専門性の高い診療科が集まっており、協力病院の朝日大学病院(岐阜市内)名古屋医療センター等と提携し、経験豊かな指導医の基で十分な研修を受けられる環境と、各年次2~3名の少人数制を生かした、質の高い研修が可能で、2年次の選択研修では自主性を重んじたコースの選択が可能です。幅広い視野を持ち、医療スタッフ・患者様との人間関係を構築できる、意欲ある研修医を求めています。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部 管理課長 大場 明彦
- 担当医師** 副院長・教育研修センター長 安田 邦彦
- TEL** 058-232-7755
- FAX** 058-295-0077
- E-mail** ooba.akihiko.ax@mail.hosp.go.jp





静岡てんかん・ 神経医療センター



病院長名	今井 克美
住 所	〒420-8688 静岡県静岡市葵区漆山886
電話番号	054-245-5446

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
1				13					3	12								
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他											計
			5															34

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
246	160						406

- 1日平均患者数 **外来** 132件 **入院** 271件
- 年間救急受入数 **患者数** 221件 **救急車** 78件 **ドクターヘリ** 1件
- 年間手術件数 **総数** 71件 **全身麻酔** 70件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 15名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 3回（剖検数 3件）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 0回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	417,984 円/月
2年次	—	417,984 円/月
3年次	—	417,984 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名 静岡県立総合病院
- 研修領域 小児科、小児神経科、精神科、脳神経外科
- 研修の特徴 各診療科のてんかんプログラムがあります。小児神経科専門医コース、小児科脳波・神経画像重点コース、神経科コース、脳神経内科コース、同難病コース、同てんかんコース、脳外科コース、同てんかんコース

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名
小児脳波・神経画像専門プログラム
小児てんかん専門プログラム
成人てんかん学研修プログラム
てんかん外科学研修プログラム
重症心身障害専門プログラム

□ 研修の特徴

- ・各コース1～2名募集します。
- ・てんかん診療の我が国の中核施設である当院にて小児～高齢まででのてんかん学を内科、外科リハビリについて包括的に研修します。

病院PR

静岡てんかん・神経医療センターは、てんかん、神経難病・認知症、重症心身障害者の診療に特化した専門病院です。「安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療」を理念として、てんかんは全国を診療圏に、神経難病・重症心身障害・認知症は地域に根ざして、多くの職種が連携して、高度な医療を行っています。てんかん診療は、静岡県でのてんかん診療拠点機関に指定され、北海道から沖縄、中国、インドネシア等の海外からも紹介患者さんが受診されており、てんかん病棟では16台の長時間ビデオ脳波計がフル稼働しています。神経難病診療は、静岡市の認知症疾患医療センターとして指定されています。臨床研究部では、グルタミン酸受容体自己免疫を含む遺伝子・生化学・病理などの研究を行い、多くの英文論文を発表しています。



初期研修医の声

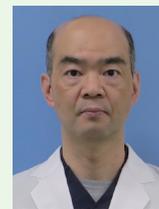
「てんかんの診断から治療、さらには臨床研究まで、幅広く体験でき、小児医療でありながら、成人てんかん、てんかん外科診療も体験できて大変良かったです。」

「てんかん外科適応を判断するために入院された患者さんの診療の中で、てんかん発作を真剣にビデオで観察したり、発作時脳波をデジタルの脳波で子細に焦点を見出すための検討をしたりする中で、てんかん診療の技量が向上しました。」

研修担当

□ 臨床研究部長 西田 拓司

てんかん・神経難病診療の研修は、個々の先生の事情に合わせて正職員・レジデント・後期研修医・臨床研究部外部研究員等さまざまな形でいただいくことが可能です。是非ご相談下さい。院内託児所も完備しており、療育と研修の両立も可能です。



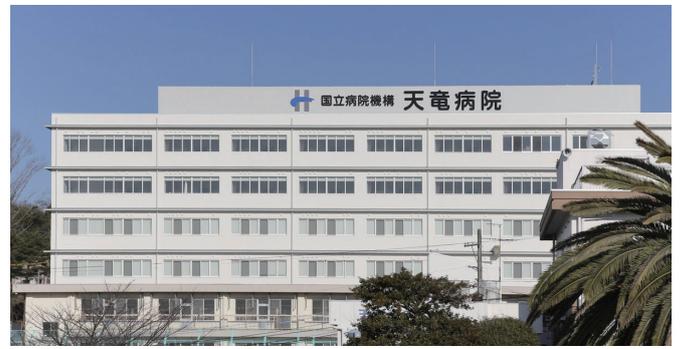
お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課庶務係長
- 担当医師** 臨床研究部長 西田 拓司
- TEL** 054-245-5446
- FAX** 054-247-9781
- E-mail** 307-sy03@mail.hosp.go.jp





天竜病院



病院長名	白井 正浩
住 所	〒434-8511 静岡県浜松市浜北区於呂4201-2
電話番号	053-583-3111

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	8			3						1							
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
				5													19

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
148	110		8	50			316

- 1日平均患者数 **外来** 94件 **入院** 282件
- 年間救急受入数 **患者数** 396件 **救急車** 130件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 0件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 6名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回(剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 3回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	300,000 円/月	300,000 円/月
2年次	300,000 円/月	320,000 円/月
3年次	-	320,000 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名
 - ・ 浜松医科大学医学部附属病院

□ 研修領域

- ・ 呼吸器・アレルギー科
- ・ 脳神経内科
- ・ 児童精神科

□ 研修の特徴

- ・ 症例多数
- ・ 結核診療
- ・ 児童精神科

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
呼吸器専門研修プログラム	浜松医科大学医学部附属病院
精神科専門医(後期研修医)研修プログラム	浜松医科大学医学部附属病院
子どものこころの専門医研修プログラム	浜松市子どものこころの診療所

□ 研修の特徴

- ・ 結核診療
- ・ 児童精神科診療(発達障害、被虐待児、トラウマ評価・処理)

病院PR

当院の特色は、

1. 呼吸器疾患の医療
2. 児童思春期心身疾患(発達障害・虐待児)の医療
3. 神経・筋疾患の医療
4. 地域医療・救急医療

を、行っていることです。

研修担当

□ 副院長 中村 祐太郎

当院の特徴である児童精神科の専門病棟は新しい研修先として注目を集めています。また、呼吸器科を目指すならば必須である結核の治療を入院から感染対策まで学ぶことができ、非結核性抗酸菌症や間質性肺炎などの診療にも力を入れています。脳神経内科の入院患者様も多く、高齢者を中心とした一般内科診療を学びつつ、呼吸器や神経・筋疾患の専門的な研修が可能です。育児中の女性医師がキャリアを積めるようサポートもしています。



トピックス

- ① 当院脳神経内科では、慢性期神経難病等患者を診療する中で、地域の医療機関との連携、終末期緩和医療の現実や倫理的問題等への理解を深めることができます。
- ② 当院子どものこころのケアセンター(児童精神科)では、看護師、心理療法士、PSWなど多職種とのチーム医療を展開しており、活発な意見交換を行い、治療方針の共有と協同に努めています。研修では重症例を含む発達障害、虐待、精神疾患等の症例を数多く経験することができ、これらの疾患に関する標準的・専門的・先進的な診断と治療の技術を習得することが可能です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課 庶務係長
- 担当医師** 副院長 中村 祐太郎
- TEL** 053-583-3111
- FAX** 053-583-3664
- E-mail** nakamura.yutaro.je@mail.hosp.go.jp





静岡医療センター



病院長名	岡崎 貴裕
住 所	〒411-8611 静岡県駿東郡清水町長沢762-1
電話番号	055-975-2000

病院概要

診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3	3	9	4	11	1	5	2				4	2			2	4	5
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
2				2	1	3											63

病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
392	58						450

- 1日平均患者数 **外来** 460件 **入院** 319件
- 年間救急受入数 **患者数** 6,494件 **救急車** 2,965件 **ドクターヘリ** 22件
- 年間手術件数 **総数** 2,604件 **全身麻酔** 1,700件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 23名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 6回（剖検数 3件）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 **初期研修** 5回/月平均 **専門研修** 5回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	469,100 円/月	596,000 円/月
2年次	485,200 円/月	612,000 円/月
3年次	-	633,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴
 - [1年目] 内科（24週）、救急部門（12週）、外科（8週）、放射線科（4週）の研修を行う。
 - [2年目] 麻酔科（8週）は当院で研修を行い、小児科（4週）、産婦人科（4週）、地域医療（4週）、精神（4週）、感染症内科（4週）は他施設で研修を行います。
- 研修終了後の進路 当院専門医プログラム又は他院
- 研修医の出身大学 聖マリアンナ医科大学・日本医科大学・北海道大学・熊本大学など
- 募集人数 7名
- 試験日程 7～8月以降、定員に達するまで随時
- 選考方法 面接（可能であれば事前見学）



専門研修

基幹施設

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	臨床	救急	形外	リハ	総診
○												○						

主な専門研修プログラム

基本領域名(プログラム名)	年数	定員
麻酔科（静岡医療センター麻酔科専門研修プログラム）	4年	3名
内科（静岡医療センター内科専門研修プログラム）	3年	3名

- 試験日程 随時調整
- 選考方法 面接方式



連携施設

主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科	聖マリアンナ医科大学
外科	聖マリアンナ医科大学
皮膚科	浜松医科大学

病院PR

27の診療科を有した総合医療施設である静岡県東部の基幹病院です。診療機能としては、循環器、がん、救急及び総合診療を4本柱とする急性期医療と、平成29年10月に国立病院機構静岡富士病院と統合されたことによる神経・筋疾患、重症心身障害を中心とする慢性期医療の両方を担う医療機関として地域の医療ニーズに応えています。また、昭和53年度より地方循環器病センターに指定され、心筋梗塞、大動脈解離、大動脈瘤破裂、脳卒中などの循環器疾患の救急治療に積極的に取り組んでいます。特に静岡県東部で発症した大動脈瘤破裂の緊急手術については当院でその多くを引き受けています。

初期研修医の声

研修医 廣橋 拓海

静岡医療センターでは本人のやる気次第で多くの手技を任せてもらえるようになります。研修初期の頃に大学と比較してここまで学べるのかと驚いたことを今でも覚えています。また、JSプログラムのカンファレンスに参加している研修医も多く、ハワイ大学の先生の講義を聞いたり、米国を目指す年の近い先輩医師から研修医に近い目線でアドバイスを貰ったりなど、将来を考えるうえでもとても充実した研修生活を送れています。



研修担当

院長 岡崎 貴裕

静岡医療センターのプログラムで特徴的なものとしては、麻酔、放射線科の研修が合計12週あること、指導医や上級医のマンツーマン指導のもとでみっちりと研鑽できることがあげられます。最近ではハワイ大学との連携により、米国を目指す若手医師が増えています。将来どの道に進むかは人それぞれですが、他にはない新たな研修環境が静岡医療センターで出来つつあることを感じています。



トピックス



平成31年4月より、厚生労働省、国立病院機構本部の承認を得て、米国臨床医を目指す若手医師のためのJSプログラム（Match A Resident Program）を開始、数多くの米国人医師、米国専門医を有する日本人医師による講義を行っています。また、令和2年4月より、ハワイ大学医学教育プログラム（HMEP）を開始し、提携する12の医学部の医学生に、国際基準の臨床実習（HMEP Clinical Clerkship）を開始しています。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 管理課 庶務係長
- 担当医師 院長 岡崎 貴裕
- TEL 055-975-2000
- FAX 055-975-2725
- E-mail 310-kanri03@mail.hosp.go.jp





名古屋医療センター



病院長名	小寺 泰弘
住所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
電話番号	052-951-1111

病院概要

診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
39	11	12	11	8	15			3	9	13	4	9	14	7	9	11	9
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	菌										計
7	1		2	7	5	5	6										217

病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
618				38			656

- 1日平均患者数 外来 1,090件 入院 448件
- 年間救急受入数 患者数 13,375件 救急車 9,279件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 5,475件 全身麻酔 2,255件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 57名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 4回(剖検数2件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当直 初期研修 5回/月平均 専門研修 3回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	316,700 円/月	394,200 円/月
2年次	334,800 円/月	414,800 円/月
3年次	-	435,600 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴 当院の初期研修はコース別になっていません。従来型の全科ローテーションを行っていただいた上で、2年目になるときに本人のキャリアビジョンを踏まえて、ローテーションはかなり柔軟にカスタマイズしています。
- 研修終了後の進路 当院専攻医、近隣の大学病院等
- 研修医の出身大学 名古屋大学、愛知医科大学、信州大学、広島大学、琉球大学等
- 募集人数 14名
- 試験日程 2024年8月中旬
- 選考方法 小論文、面接



専門研修

基幹施設

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	臨床	救急	形外	リハ	総診
○				○			○								○			

主な専門研修プログラム

基本領域名(プログラム名)	年数	定員
内科専門研修プログラム	3年	11名
外科専門研修プログラム	3年	4名
眼科専門研修プログラム	4年	1名
救急専門研修プログラム	3年	5名

- 試験日程 お問い合わせください。
- 選考方法 面接試験



連携施設

主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
小児科専門研修プログラム	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
皮膚科専門研修プログラム	名古屋大学医学部附属病院
脳神経外科専門研修プログラム	名古屋大学医学部附属病院

病院PR

当院での初期研修は、医師として必要とされる、知識・技術の基礎・基盤、医療者としての心構えなどを2年間を通じて学んでいただける環境にあります。それはハンズオンや座学であったり、先輩医師の背中であったりするかもしれません。しかし、最も重要なのは、上級医と一緒に患者さんを任されて診るという機会の数です。多くの重症例に対応するため救急専門医を中心とし各科専門医との連携の下、三次救急病院としての役割を果たしつつ、指導教育に力を注いでいます。後期専門研修に関しても、当院が基幹施設となる診療科以外にも、大学病院等の連携施設として専門研修が受けられる診療科は多数ありますので、是非、お気軽にお問い合わせください。

初期研修医の声

研修医 研修医 一同

名古屋医療センターの魅力は研修医を熱心に教育してくれる先生方が多いことです。次に、様々な地域から研修医が集まっていることです。同期は14人中13人と全国から集まっています。また繁華街に徒歩10分の立地で、同期と仕事終わりに食事に行けます。オンとオフの切り替えという点でも素晴らしい環境です。初期研修の2年間でどう過ごすかは自分次第ではありますが、当院は充実した環境が揃っています。是非、一度見学にお越しください。



研修担当

統括診療部長 飯田 浩充

当院は症例数が豊富、救急患者における三次救急の割合が高い、多数の科の専門医が指導する、カンファレンス・勉強会・症例検討会などが豊富、など最高の環境が用意されています。指導医は経験豊富で各科に専攻医が多数いるため、彼らが後輩指導の中心となり、文字通り24時間365日に渡って屋根瓦方式の教育指導が行われているとのこと。当院にて研修を行うことで医師としての確固たる基盤が形成されることとなります。



トピックス

名古屋医療センターは内科系、外来系ともに診療科が揃っているだけでなく、教育熱心な指導医や目標にしたい後期レジデントの先生方の指導を受けることができます。その内容は医学知識だけでなく、多職種との連携や患者さんとの関わり方など多岐にわたります。また、病院全体に流れる暖かな気風も魅力の一つでしょう。そんな名古屋医療センターに惹かれて、毎年全国各地から大学の偏りなく研修医が集まります。様々な背景を持つ仲間たちと切磋琢磨しつつ、ともに学び成長していきましょう。まずはぜひ一度見学にお越し下さい。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 事務部管理課
- 担当医師 統括診療部長 飯田 浩充
- TEL 052-951-1111
- FAX 052-951-0664
- E-mail 311-sotsugok@mail.hosp.go.jp





東名古屋病院



病院長名	饗場 郁子
住 所	〒465-8620 愛知県名古屋市長区梅森坂5-101
電話番号	052-801-1151

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
	5	2		10						2	2			1	1		
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
	1						1										25

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
280	50		40				370

- 1日平均患者数 **外来** 166件 **入院** 266件
- 年間救急受入数 **患者数** 584件 **救急車** 105件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 50件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 8名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 2回(剖検数 2件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 2回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	437,964 円/月	480,536 円/月
2年次	459,192 円/月	501,532 円/月
3年次	-	502,296 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 研修領域
 - ・呼吸器内科
 - ・脳神経内科

□ 研修の特徴

脳神経内科プログラム：
当院には神経変性疾患80～90名、脳血管障害50～60名が常時入院しており、脳卒中回復期のリハビリテーション及び他施設で経験することが難しい症例を学ぶことができます。

呼吸器内科プログラム：
感染症と呼吸管理を中心に修得し、一般病院では経験できない結核症例などを学ぶことができます。

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科	名古屋大学
内科	国立病院機構名古屋医療センター
内科	中部労災病院
リハビリテーション科	名古屋大学
リハビリテーション科	愛知医科大学

□ 研修の特徴

基本的なローテーションの中で、各科指導医からアドバイスを無理なく修得

病院PR

■ 当院の特徴

- 1) 愛知県結核最終拠点病院
 - ・多剤耐性結核専門医療機関
- 2) 神経難病
 - ・愛知県難病医療ネットワーク協力病院
- 3) 重症心身障がい児(者)医療
- 4) 総合リハビリテーション
 - ・回復期リハビリテーション病棟
 - ・脳卒中、整形、呼吸器、がん
- 5) 地域一般医療
 - ・名古屋市長区唯一の公的病院
- 6) 附属リハビリテーション学院
 - ・国立病院機構唯一のPT・OT養成校
- 7) 臨床研究部

研修担当

□ 副院長 中川 拓

当院の4つの柱は①神経難病を中心とした脳・神経・筋疾患、②結核、非結核性抗酸菌症などの慢性呼吸器感染症、③重症心身障害児(者)医療、④回復期リハビリテーションです。当院は結核療養所として長い歴史をもつ愛知県の結核最終拠点病院であり、結核の診療経験を積むことができます。呼吸器内科は結核患者の減少とともに急速に患者数が増加している肺非結核性抗酸菌症の診療・研究に力を入れています。



トピックス

脳神経内科のスタッフは東海地区の中でも充実しており、患者数も多く疾患も多彩で他の施設では経験できない稀少な神経難病患者(筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、クロイツフェルト・ヤコブ病など)を経験することができます。リハビリテーション科は脳卒中、神経難病、整形外科、呼吸器などの幅広い分野をカバーしており、いろいろな症例を経験することが可能です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課庶務係長
- 担当医師** 副院長 中川 拓
- TEL** 052-801-1151
- FAX** 052-801-1160
- E-mail** 312-kanri@mail.hosp.go.jp





東尾張病院



病院長名	田中 聡
住 所	〒463-0802 愛知県名古屋守山区大森北2-1301
電話番号	052-798-9711

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
				8													8

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
				233			233

- 1日平均患者数 **外来** 60件 **入院** 125件
- 年間救急受入数 **患者数** 89件 **救急車** 26件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 0件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 4名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回(剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 3回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	430,000 円/月
2年次	—	430,000 円/月
3年次	—	—

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- **基幹病院名**
名古屋医療センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋救済会病院、名古屋市立大学、旭ろうさい病院、小牧市民病院
- **研修領域**
精神科
- **研修の特徴**
・ 総合病院では体験できない症例を経験。
・ 現代の精神医療の基本を学ぶ。
・ 総合病院・一般救急と、精神医療の接続について学ぶ。

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
名古屋大学精神科・児童精神科専門研修プログラム	名古屋大学医学部附属病院
藤田医科大学精神科領域専門医研修プログラム	藤田医科大学病院
名古屋大学病院精神科・親と子どもの心療科・小児科 関連研修施設群子どものこころ専門研修プログラム	名古屋大学医学部附属病院
福岡大学 精神科専門医専門研修プログラム	福岡大学病院

□ 研修の特徴

- ・ 精神科医として自立するだけでなく、チーム医療においてリーダーとして行動できるようになる。
- ・ 臨床研究や症例発表を経験し、リサーチマインドの端緒に触れる。

病院PR

本院は、一般の精神科医療に加えて、下記の領域に力を入れている。

【救急・急性期治療】

基幹施設のひとつとして、愛知県精神科救急輪番体制に参加。

【司法精神医学領域】

早期から医療観察法入院治療病棟を運用。刑事精神鑑定の実績も豊富。

【治療抵抗性統合失調症への対応】

クロザピンを積極的に導入している。

【研修医世代への支援】

個別のメンターシップ体制に加え、多重のサポート体制をとっている。年休や代休の取得、産休・育休の取得についても十分な実績がある。

研修担当

□ 院長 田中 聡

創立以来、患者さんたちへの「個別的対応」を中心理念とした運用を行ってきています。重症例多数を受け入れつつ、包括的暴力防止プログラム(CVPPP)を早期から導入し、身体拘束を極力避けるよう努めています。精神科救急症例・行動制限症例・地域医療症例を中心に、児童思春期症例・司法精神医学症例を含め、幅広い臨床経験を積むことが可能であり、精神保健指定医資格の取得についても十分なサポート体制と実績を持っています。



トピックス

- ・ 医師の個別的事情に十分配慮し、業務配分については丁寧な調整を心がけています。育児世代の方の業務軽減についてもたくさんの実績があり、医局内での相互協力が良い雰囲気の中で行われています。
- ・ 精神病理学や医療観察法領域の臨床研究に加え、2020年度より、臨床研究部(院内標榜)やRST(リサーチサポートチーム)の運用を再開しました。研修期間中から、より広範な領域の臨床研究の端緒に触れていただくことが可能です。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 管理課 庶務班
- 担当医師** 院長 田中 聡
- TEL** 052-798-9711
- FAX** 052-798-5554
- E-mail** 313-HIGASHIOWARI@mail.hosp.go.jp





豊橋医療センター



病院長名	山下 克也
住 所	〒440-8510 愛知県豊橋市飯村町字浜道上50
電話番号	0532-62-0301

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
2			1		7					3	2	1	5					2
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他											計
	1		1															26

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
348	40						388

- 1日平均患者数 **外来** 340件 **入院** 230件
- 年間救急受入数 **患者数** 9,417件 **救急車** 3,485件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 1,674件 **全身麻酔** 677件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 23名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 2回(剖検数 2件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 4回/月平均 **専門研修** 4回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	530,000 円/月	650,000 円/月
2年次	600,000 円/月	680,000 円/月
3年次	-	710,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴 プライマリ・ケアの習得と全人的医療の研修を目指したスーパーローテート型プログラムです。各科では医長を始め、各スタッフがマンツーマン方式によるきめの細かい指導を心掛け、画一的になりがちな大規模や症例に片寄りのある小規模病院と異なり研修医の能力や希望に柔軟に対応します。
- 研修終了後の進路 連携病院と連携し、一貫した卒後専門教育を受けることが可能である。
- 研修医の出身大学 島根大学、高知大学、杏林大学、福井大学、名古屋市立大学など
- 募集人数 2名
- 試験日程 2024年8月上旬～
- 選考方法 面接のみ



専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科、外科	国立病院機構名古屋医療センター
内科、外科	名古屋大学
内科	豊橋市民病院
整形外科	名古屋市立大学、他
脳神経外科	岐阜大学

□ 研修の特徴

総合内科専門医として必要なスキルをバランスよく学べるプログラムとなっており、将来のサブスペシャリティ選択を見据えた研修を実施できる。

病院PR

当院は平成17年に豊橋東病院と豊橋病院と統合した比較的新しい医療機関です。特色は、「がん、循環器疾患、重症心身障害、骨・運動器疾患」の4分野の専門的な医療を推進するとともに、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えた施設として、より充実した地域医療の貢献を進めています。また救急医療や高度医療としては循環器科における冠動脈インターベンション、脳神経外科における血管内治療、外科における肝・胆・膵難治癌や乳癌の手術、整形外科における人工関節置換術、外傷やリウマチ疾患治療などに特色がある。また緩和ケア病棟の存在により、癌の診断、治療そしてターミナルケアと癌患者に対し幅広い対応が可能である。

初期研修医の声

□ 研修医 工藤 由依/伊藤 佑亮

豊橋医療センターを選んだ理由について
工藤(由依) 定員が少ないため経験できる症例数が多くマンツーマンで自由度の高い研修を受けられます。

伊藤(佑亮) 研修医が経験しておくべき症例が外来に来たら指導医の先生方から声がかかりますし、いつでも協力してくれるので自分のペースで研修することができ、指導医や看護師も優しい方が多く研修医が困っていれば声をかけてくれるので手技や救急当直も安心してこなすことができます。



研修担当

□ 教育研修室長・指導医 伊藤 武

当院の研修プログラムの特長は、各々の研修医に希望に沿った研修を行える柔軟性です。中心静脈カテーテル挿入、挿管などの手技の習得においても、ローテート中の診療科に関わらず、いつでも気軽に声を掛け合い、経験できるのは研修医数が少ない中規模病院ならではのメリットであると思います。また、豊橋市は、新幹線に乗れば東京へも1時間20分で行ける便利な場所です。まずは見学に来て下さい！



トピックス

職員宿舎完備



豊橋駅には新幹線・JR・名鉄が乗り入れ、高速道路ICにも近いなど、交通至便です。伊良湖など景勝地も近く、自然環境豊かな地にあります。開院後18年経過した若い病院ですが、30名程の常勤医師はやる気のある強者揃いです。研修医受入は平成21年度から始まり、例年2名ないし1名です。平成26年度から協力病院に名古屋医療センターが加わり、選択領域が広がります。少数枠病院の特性を生かし、各個人の力量や希望に併せてプログラムを作り充実した研修ができると思います。是非、一度来訪下さい。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課長
- 担当医師** 教育研修室長・指導医 伊藤 武
- TEL** 0532-62-0301
- FAX** 0532-62-3352
- E-mail** 314-sy01@mail.hosp.go.jp





三重病院



病院長名	谷口 清州
住 所	〒514-0125 三重県津市大里窪田町357
電話番号	059-232-2531

病院概要

□ 診療科・医師数

内	消化	内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	2	0	0	3	2	0	0	0	19	0	1	0	2	0	0	1
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	菌									
0	1	1	0	0	0	0	1									34

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
208	50				2		260

- 1日平均患者数 **外来** 211件 **入院** 187件
- 年間救急受入数 **患者数** 2,987件 **救急車** 1,059件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 311件 **全身麻酔** 291件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 無 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 7名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回(剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** - **専門研修** 4回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	-	580,000 円/月
2年次	-	595,000 円/月
3年次	-	612,000 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

三重大学医学部附属病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院
三重中央医療センター、桑名市総合医療センター

□ 研修領域

・小児科

□ 研修の特徴

- ・急性期病棟で軽症から呼吸器管理が必要な重症例まで幅広く担当します。
- ・小児慢性疾患病棟があり、アレルギー、肥満、発達障害等の慢性疾患や隣接する特別支援学校に通学しながら療養に励む子どものケアも学ぶことができます。
- ・小児アレルギー、小児神経、小児内分泌、小児感染症、小児自己免疫疾患、発達障害、摂食障害、肥満などの小児専門領域も経験することができます。

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
小児科専攻医プログラム	三重大学医学部附属病院
耳鼻咽喉科専門研修プログラム	三重大学医学部附属病院
内科専門研修プログラム	三重大学医学部附属病院
整形外科専門研修プログラム	三重大学医学部附属病院
外科専門研修プログラム	三重大学医学部附属病院

□ 研修の特徴

小児の普遍的疾患の一般臨床(外来・入院)をはじめとして、小児アレルギーにかかわる臨床(入院食物負荷試験・経口減感作療法・スギ減感作療法・アトピー性皮膚炎入院管理等)、小児感染症、小児自己免疫疾患などサブスペシャリティ領域の研修にも広がっていきます。アレルギー専門医、子どものこころ専門医研修施設の認定を受けており、それぞれの専門医資格取得も可能です。また、三重大学の連携大学院であり、勤務しながら学位を取得することも可能で、海外からの留学生もいて国際共同研究も進めています。

病院PR

当院は、小児救急・小児慢性疾患(小児生活習慣病・思春期医療を含む)について、高度医療の実施、臨床研究、教育研修の機能の他、内分泌内科・脳神経内科・小児整形外科・リハビリテーション及び重症心身障害についての専門医療を提供しています。また、移行期医療として小児から成人に引き続いて一貫したケアができる病院を目指しています。研究活動は積極的に推進しており、各種公的研究費を獲得し、高度な研究を背景にこれらを臨床に活かしていくとともに、毎年多くの論文を発表しており、三重大学の連携大学院としてこれまで多くの方が働きながら学位を取得してきました。

「診療の特徴」

- ①地区医師会と連携してオープンシステムを運営し、小児二次救急拠点病院として幅広い小児疾患の総合的診療と疾患別専門性をもった小児急性疾患の診療
- ②成育医療に関して、特に小児慢性疾患についての高度医療と小児外科疾患、小児整形外科、小児耳鼻科、児童精神科等の各専門領域の医療
- ③重症心身障害児(者)への専門的な医療と移行期医療の推進
- ④神経難病、糖尿病をはじめとする成人内分泌疾患についての専門的医療

研修担当

□ 副院長 菅 秀

当院はJR、近鉄津駅の北西6kmの丘陵地に位置し、敷地面積約19万㎡と広く周囲は緑に囲まれている。

小児急性疾患は、中勢圏ばかりでなく県全体より紹介を受ける。また病院玄関前の、子ども休日夜間応急診療所との連携もよく2次救急を担当する。

慢性疾患は、隣接する県立かがやき特別支援(小、中、高等)学校に通学しながら療養に励んでいる。医局はごちんまりしてアットホームな雰囲気各科の先生との連携はとてもしっかり。研究熱心な先生方により基礎・臨床研究、学会活動は活発である。



トピックス

□ 小児科医長 篠木 敏彦

小児急性期病棟は感染症などの一般的な症例の他、神経やリウマチ膠原病などの比較的可成りな症例まで幅広く集まります。感染症では日本屈指の病院であり、様々な最新の知見が得られます。様々な刺激を受け、力が付く研修ができると思います。



□ 臨床研究部長 長尾 みづほ

アレルギー疾患はすべての臓器に発現する全身疾患であり、アナフィラキシー、薬物アレルギーなど診療科を問わず対処すべき問題もあります。研修では気管支喘息、食物アレルギー・アトピー性皮膚炎など小児に多いアレルギー疾患の診断・治療、最新の検査・治療法の習得ができ、アレルギー専門医、医学博士取得も可能です。(三重大学連携大学院)



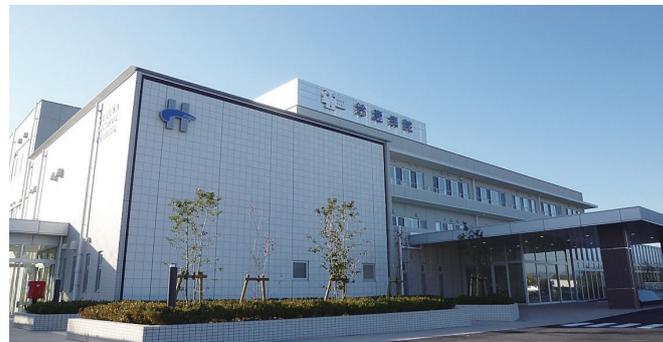
お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部 管理課
- 担当医師** 副院長 菅 秀
- TEL** 059-232-2531
- FAX** 059-232-5994
- E-mail** 315-kanrika@mail.hosp.go.jp





鈴鹿病院



病院長名	久留 聡
住 所	〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3-2-1
電話番号	059-378-1321

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3				7								1					
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
																	11

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
50	120	120					290

- 1日平均患者数 外来 26件 入院 273件
- 年間救急受入数 患者数 0件 救急車 1件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 0件 全身麻酔 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 1名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 1回（剖検数 4件）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 初期研修 0回/月平均 専門研修 0回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	300,000 円/月	400,000 円/月
2年次	360,000 円/月	—
3年次	—	—

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名 鈴鹿中央総合病院
- 研修領域 脳神経内科（変性筋ジストロフィー）
- 研修の特徴
 - ・当院には多数の神経難病、筋疾患患者が入院されています。
 - ・神経・筋疾患の経過を把握し、診察できる能力を見につけることができます。
 - ・慢性期の全身管理（人工呼吸管理、褥瘡管理等）について学ぶことができます。

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
内科専門研修プログラム	藤田医科大学病院
内科専門研修プログラム	市立四日市病院

□ 研修の特徴

当院では一般病院では数少ない神経難病、筋疾患の豊富な症例を経験することができます。
 神経・筋疾患の発症から死に至る過程を把握し、診察できる能力を見につけることができます。
 慢性期の全身管理（人工呼吸・栄養・褥瘡管理など）について学ぶことができます。
 神経筋疾患の遺伝について学ぶことができます。

病院PR

- ・国立病院機構のセーフティネット系病院として、政策医療である筋ジストロフィー・神経難病・重症心身障害児（者）の分野において質の高い専門医療を提供している
- ・稀少疾患症例が多く、神経筋疾患について幅広く研修することが可能
- ・三重県の神経筋疾患の難病診療分野別拠点病院の1つとなっている
- ・歩行訓練用ロボットスーツ、HAL医療用下肢タイプを導入している県下唯一の施設である

研修担当

□ 院長 久留 聡

当院には神経難病や筋ジストロフィーをはじめとする筋疾患の患者さんが多数入院されています。脳神経内科医が多く在籍し、日本神経学会認定の教育指定病院となっています。様々な疾患を終末期まで長期間にわたり診療することができ疾患の全体像を把握できることが当院の特色だと思います。長期フォローにより、教科書には記載されていない所見を見出すこともあります。患者さんやご家族とのやりとりの中で、疾患そのものだけでなく人生についても熟慮させられることも多々あり、そのような意味で、貴重な経験ができる病院であると思います。意欲のある若い先生方の研修を心より歓迎いたします。



トピックス

□ 指導医(副院長) 南山 誠

これまで対症療法しかなかった神経筋疾患に対し核酸医薬や病態抑止療法の開発が進められており、当院でもその効果を追跡中です。治療のためには、従来の脳神経内科的診断に加え、遺伝子診療がますます重要になってきており、当院ではその両方を学ぶことができます。また、神経筋疾患の歩行障害に対するロボットスーツは好評を得ており治療に加わっていただければと思います。一方で、当院は人工呼吸器が約100台稼働しており、呼吸不全、心不全、腸閉塞などなど日々の診療は総合内科的なことが多く、その知識と技術の習得を当院で身に付けていただきます。患者さんの終の棲家となることが多い病院なので、ACPや終末期医療についても学んでいただきたいと思っています。



鈴鹿の森庭園



鈴鹿サーキット

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 事務部 管理課
- 担当医師 院長 久留 聡
- TEL 059-378-1321
- FAX 059-378-7083
- E-mail 316-kanrika@mail.hosp.go.jp っ s





三重中央医療センター



病院長名	下村 誠
住 所	〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
電話番号	059-259-1211

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
4	7	5	5	4		3	8	3	6	13	7	4	1	1	1	1	6
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										
3				1	1												84

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
450			30		6		486

- 1日平均患者数 **外来** 676件 **入院** 307件
- 年間救急受入数 **患者数** 7,008件 **救急車** 4,919件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 3,326件 **全身麻酔** 1,755件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 有 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 45名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 7回(剖検数 8件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 4回/月平均 **専門研修** 4回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	418,900 円/月	622,908 円/月
2年次	434,724 円/月	643,440 円/月
3年次	—	663,160 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴
 - ・毎週救急症例検討会を行い、幅広い領域の医師が参加
 - ・定期的に行われる各科上級医によるレクチャー
 - ・教育型CPCを採用し、症例を深く考察する機会がある
- 研修終了後の進路 当院後期研修医、大学入局など
- 研修医の出身大学 三重大学、大阪大学、愛媛大学、宮崎大学、琉球大学など
- 募集人数 10名
- 試験日程 2024年8月頃
- 選考方法 面接方式



専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
三重大学連携プログラム	三重大学

□ 研修の特徴

- ・各学会専門医の資格取得及び臨床研修指導医・医療安全推進者の役割を果たせること
- ・診療管理ができ診療統計を活用し学会発表・治験などの研究活動ができること
- などを到達目標にしています。

病院PR

当院は、津地区の救急・急性期治療を担う中核病院です。救急では一次から実質三次にわたる急性期・救命救急の役割を果たしており、十分な急性期医療に従事することが可能です。そして、もう一つの特徴として、分野ごとに外科系・内科系で病棟が同じであるため、診断・治療においても偏らず、指導医やスタッフ同士の交流も良好で、垣根なくスムーズな診療体制がとられているので、多岐にわたり医師としての大事な基礎を築いていくことが可能です。政策医療として、赤ちゃんにやさしい病院、総合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、結核拠点病院、救急輪番制病院（二次救急）、救急告示病院、災害拠点病院などの基幹・専門医療施設です。

初期研修医の声

□ 研修医 野田 悠介

当院の初期研修制度の特徴について3点、ご紹介します。1つ目の特徴は、1日目4月、各科ローテーションが始まる前に採血やエコー検査など各種手技の練習の場が1週間ほどあり、スムーズに研修がスタートできることです。2つ目は救急専門医が常勤しており、対応した患者さん一人一人について、丁寧にフィードバックがなされ、救急外来での初期対応能力が一気に向上します。3つ目は研修医室です。当院では総合医局の一角にデスクを並べており、雰囲気がよく充実した研修生活を過ごしています。興味のある方は、ぜひ見学にきてください。

研修担当

□ 教育研修部長 田中 淳子

初期研修は、医師としての第一歩であるとともに、社会人としての第一歩でもあります。スキルの上達と人間性の両立をバランス良く磨き、患者さんから信頼を得られる医師に成長していくことが必要です。多くの指導医との出会いの中で、今後の医療人としての道を左右するような師、もしくは同僚との出会いがあるかもしれません。人との出会いはとても大切で、人との関わりの中で成長していけるものです。みなさんと貴重な出会いとなれるような人を目指して、指導医のみならずスタッフそれぞれが、日々刺激を受け研鑽しあっています。



トピックス

【救急症例検討会および指導医レクチャー】

初期研修医は、救急症例検討会で年間3-4回程度の発表を行い、救急症例を深く勉強することができます。また、各分野の指導医が救急疾患に対するレクチャーを行い（年20回程度）、理解を深めることができます。実際に自分が経験した症例や、自分の救急での対応をふりかえることで、救急対応や各種疾患への理解を深めることができる研修施設です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課 研修医・専攻医担当
- 担当医師** 教育研修部長 田中 淳子
- TEL** 059-259-1211
- FAX** 059-256-2651
- E-mail** 317-miechuo-kenshu@mail.hosp.go.jp





榊原病院



病院長名	鬼塚 俊明
住 所	〒514-1292 三重県津市榊原町777
電話番号	059-252-0211

病院概要

□ 診療科・医師数

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計
			8														8

□ 病床数（医療法病床数）

一般	重症心身障害	筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
				175			175

- 1日平均患者数 **外来** 55件 **入院** 150件
- 年間救急受入数 **患者数** 21件 **救急車** 29件 **ドクターヘリ** 0件
- 年間手術件数 **総数** 0件 **全身麻酔** 0件
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 **宿舎** 無 **院内保育所** 有 **病児保育室** 無

研修体制

- 指導医数 2名
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況 0回(剖検数 0件)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り(発表者のみ)
- 当 直 **初期研修** 0回/月平均 **専門研修** 5回/月平均
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	基幹病院負担	687,692 円/月
2年次	基幹病院負担	696,792 円/月
3年次	—	705,892 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名
 - ・ 国立病院機構三重中央医療センター
 - ・ 三重大学医学部附属病院
- 研修領域
 - ・ 精神科
- 研修の特徴
 - ・ 主要な精神疾患だけでなく、アルコール/薬物依存やギャンブル依存等の嗜好行動について学習。
 - ・ 治療抵抗性統合失調症等の薬物療法、児童思春期精神医学、認知症の症例が学べる。
 - ・ 医療観察法病棟での精神鑑定等の司法医療について学べる。

専門研修

連携施設

□ 主な専門研修プログラム

基本領域名	基幹施設名
精神科専門研修プログラム	三重大学医学部附属病院
精神科専門研修プログラム	国立病院機構琉球病院
精神科専門研修プログラム	国立病院機構さいがた医療センター

□ 研修の特徴

- ・ アルコール/薬物依存の専門プログラム、ギャンブル依存等嗜好行動への治療プログラムを有す。
- ・ 精神鑑定症例も多く、司法精神医学が学べる有数の施設。
- ・ 治療抵抗性統合失調症へのクロザピン治療に積極的取り組みを行う。
- ・ 多職種チームで診療を行い、高いレベルでの臨床精神医学が学べる。

病院PR

当院では、一般的に遭遇する精神疾患の治療に加えて、ガイドラインに沿った薬物療法、司法精神医療、依存症治療、難治性統合失調症治療について学ぶことができます。

平成19年10月に開棟した医療観察法病棟では、この医療を先駆的に担ってきたスタッフが揃っており先進的な司法精神科医療を行っております。また、精神科専門医制度研修施設であり、専門医研修が可能であり、精神保健指定医資格取得に必要な症例経験をすることが可能です。抄読会なども活発に行っており、最新の知識を学べるように工夫するなど、教育に力を入れています。精神科医療を学ぶにあたり最適な環境を提供しています。

研修担当

□ 副院長 山本 暢朋（初期研修）

近年の精神科臨床では、医師・看護師・心理療法士・作業療法士・精神保健福祉士などの多職種協働によるチーム医療が注目されています。当院には「医療観察法病棟」がありますので、多職種が独自の専門性を生かして協働しながら治療を進めていく精神科チーム医療について学ぶことができます。

□ 院長 鬼塚 俊明（後期研修）

後期研修は、精神保健指定医、精神科専門医が取得できるよう、多岐にわたる症例の主治医になっていただき、チームで診療するようにしています。特に臨床心理士、作業療法士、ソーシャルワーカーなどを交えた定期的にチームカンファレンスを行っています。また、臨床研究にも力を入れており、研究指導についても充実した体制を整えています。



トピックス

入院病棟の大幅な改修が完了しました。そのbefore/afterでどのように患者さんの行動が変化するかをモニターする建築学的な研究も併せて行います。常に新しい試みを臨床研究につなげながら明日の精神医学を担う人材を育成します。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 事務部管理課 庶務班長
- 担当医師** 副院長 山本 暢朋（初期研修）
- TEL** 059-252-0211
- FAX** 059-252-0411
- E-mail** 318-kanrika@mail.hosp.go.jp

